

変わる学び —無限の可能性— 「GIGA 開き」

cotsu-cotsu

コッコツは
学びの始まり

4月23日、一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを活用した「GIGAスクール構想」に基づいた授業が本格スタートしました。児童生徒の転出・転入の影響により、県内では、端末のI/Dやパスワード設定等の整備がなかなか進まない中、垂水市はいち早いスタートとなりました。

協和小学校では、児童たちが初めてタブレット端末に触れ、ログイン方法などを学び、先生が説明するとすぐに、「できた」「もう覚えた」と、とても楽しそうに、驚くほど早く吸収していました。

新城小学校では、ロイロノートなどのソフトを活用した、実践的な授業が行われ、タブレットと大型モニターを活用し、児童一人一人の発表に対し、即座にアドバイスや意見の交換・共有を行うことで、スピーディーかつ効果的な学びが展開されていました。

取材を通して、最も印象的だったのは、児童生徒たちの「目の輝き」。新たな学びのかたちに、無限の可能性を感じました。

本城川友好会 願いをこめた鯉のぼり



5月1日～9日にかけて、本城川沿いに鯉のぼりがあげられました。これは、本城川友好会の皆さんが行ったもので、例年5月に開催される「本城川かわ祭り」が新型コロナウイルスの影響により中止せざるを得なかったため、子ども達の健やかな成長、そして、来年こそは本城川に多くの子ども達の歓声と笑顔が戻ってくることを願い、行われたものです。橋には「コロナに負けんど」「がんばろう」と書かれた垂れ幕も掲げられていました。きっと来年は、子ども達の笑顔と歓声が戻ってくると信じましょう。

園田陸運株式会社 ロードミラー清掃



4月30日、園田陸運(株)によるロードミラー清掃が行われました。同社はこれまで10年以上、ロードミラー清掃や市内の小学校のトイレ清掃に取り組まれています。当日は中央地区を3組に分かれ、約2時間をかけ、およそ200本を清掃しました。冬場の降灰により汚れていたロードミラーは、瞬く間に綺麗になっていきました。同社の広報担当者は「子どもたちが安全に通学、元気に遊べるように取り組んでいます。交通ルールを守り、楽しく過ごしてください。」と話しました。



▲新城小学校の授業風景



▲協和小学校の授業風景



▲ロイロノートを活用した発表



▲ICT支援員の方が丁寧に指導



垂水中央中学校では、タブレット端末を活用し、遠隔での生徒会総会が実施されました。生徒は、「初めての試みで不安もあったが、よい生徒総会になった」「これからタブレットをうまく活用していきたい」と感想を話しました。



▲お互いの端末を使って意見交換



▲一緒に画面を見ながら相談

※ロイロノート
タブレット上で、意見交換等ができるソフト

5月8日、松ヶ崎公民館で、JA きもつき女性部が主催するびわジャム作り体験が行われ、松ヶ崎小学校の児童、保護者の皆さんが参加しました。この体験は平成23年から行われており、今回で10回目の開催となります。今回の体験では、児童が朝のボランティア活動などを利用して育てたびわを使用しました。女性部の方々の指導の下、児童たちも手際良く作業を進め、加工室にはびわの甘い匂いと笑顔が広がっていき、地元の特産品を知る良い体験となりました。



松ヶ崎小学校児童
びわジャム作り